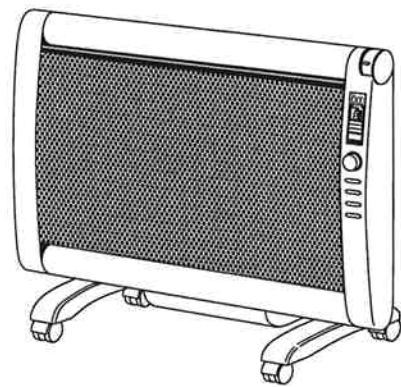




取扱説明書

保証書別添付

パネルヒーター 品番/AJ-P10DB



このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、ご家族全員で安全に正しくお使いください。
お読みになった後、「保証書」とともに大切に保管し、必要なときにお役立てください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

正しく使って上手に節約

家庭用

もくじ

安全上のご注意	2	お使いになる前に
使用上のお願い	7	
各部のなまえ	8	
ご使用前の準備	10	
本体を組み立てる	10	
給水タンクに給水する	12	
時計の合わせかた	13	

使いがた	14	使いがた
パネル暖房で使う	14	
自動運転で使う	14	
加湿暖房で使う	15	
給水表示が点灯したときは	15	
入タイマー予約のしかた	16	
切タイマー予約のしかた	17	
チャイルドロックのしかた	18	

お手入れのしかた	19	お手入れ・保管その他
吸気フィルター、タンク、本体	19	
お手入れが点灯したとき	20	
・加湿フィルター	21	
・水あかが取れにくいとき	21	
長期間使用しないとき	22	
別売品	22	
Q & A (よくあるご質問)	23	
故障かな?	24	
仕様	26	
保証とアフターサービス	27	

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

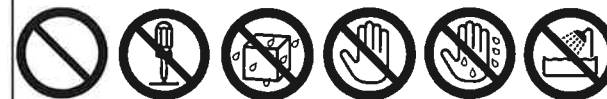


この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

■長時間、同じ部位を暖めない



比較的低い温度でも長時間皮膚の同じ場所を暖めていると低温やけどのおそれがあります。

■次のような方がお使いのときは、特に注意する



乳幼児や自分で温度調節できない方など

やけどをおこすおそれがあります。

■踏み台にしたり、腰をかけたたり、寄りかかったりしない



転倒して、けがの原因になります。

安全上のご注意 必ずお守りください

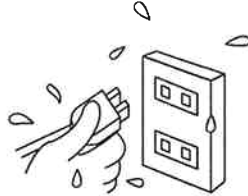
⚠ 警告

■ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。



■根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

・傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

・電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

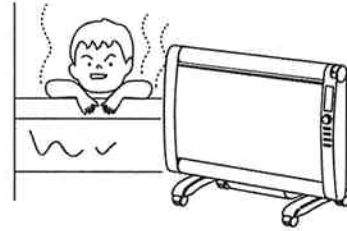
⚠ 注意

■温室・浴室など高温・多湿・水のかかる場所では使わない



水場使用禁止

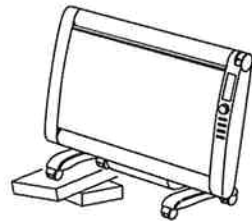
漏電して、感電・火災の原因になります。



■水平でないところでは使わない



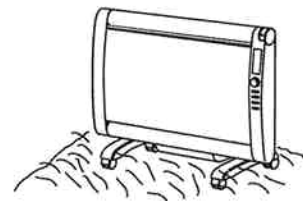
転倒して、けがの原因になります。



■毛足の長いじゅうたんの上では使わない



転倒によるけが、じゅうたんの変色・へこみの原因になります。



⚠ 警告

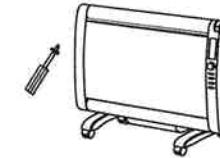
■改造はしない また修理技術者以外の方が、分解したり修理をしない



分解禁止

感電や発火したり、異常作動してけがの原因になります。

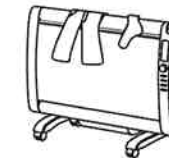
・修理は販売店にご相談ください。



■本体に衣類やふとんを掛けて使わない



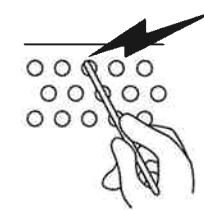
過熱して、火災の原因になります。



■吸気口やガード、加湿温風吹出口などのすき間から指を入れたり、ピンや針金などの金属物や異物などを入れない



内部に触れたり、異常作動して、火災や感電ややけどの原因になります。



■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない



傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

・コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

■スプレーなどの缶を本体の近くに置かない



熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発や火災の原因になります。

■定格15 A・交流100Vのコンセントを単独で使う



他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

⚠️ 注意

■カーテンやふとんなどがかかる場所に置かない



火災の原因になります。

■乾燥等、他の用途に使用しない



過熱して発火することがあります。

■高温部に手をふれない



接触禁止

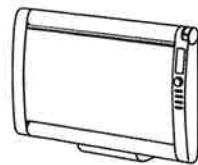
使用中や使用直後はガードや放熱口など熱い部分に手をふれると、やけどのおそれがあります。

■お手入れは本体が冷めてから、必ず電源プラグを抜いて行う



やけどや感電の原因になります。
・使用後は、本体が冷めるまで、約30分かかります。

■キャスターをはずしたり、逆さまにしたり、倒したりして使わない



過熱して、火災の原因になります。

■本体に水やお茶をこぼさない



水ぬれ禁止

内部に水が入って、感電・火災の原因になります。

こぼれたときは、直ちに使うのをやめて、販売店の点検を受けてください。

■犬や猫などのペットの暖房用には使わない



ペットが本体や電源コードを傷め、火災の原因になるおそれがあります。

お使いになる前に

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠️ 注意

■給水タンクの水は毎日新しい水道水と入れ替え、本体内部は常に清潔を保つよう定期的に掃除する



掃除せずにお使いになると、汚れや水あかにより、かびや雑菌が繁殖し悪臭の原因になります。まれに体質によっては、過敏に反応し、健康によくありません。

この場合は医師に相談してください。

■運転中、電源プラグを抜かない



本体の変形や故障の原因になります。

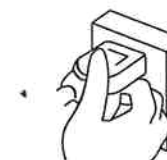
■使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

■電源プラグを抜くときは、コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く



コードがショートや断線して、火災・感電の原因になります。

■通路など人が踏みやすい場所に電源コードを配置しない



使用上のお願い

■スピーカーや電磁調理器など磁気のあるものに近づけない

フロートが誤作動し、給水を正しくお知らせできないことがあります。

■加湿温風吹出口や吸気口、湿度センサーをふさがない、直射日光の当たるところに置かない

本体の故障や変形・変質・性能低下の原因になります。

■安定した、平らなところに置く

水がこぼれないようにするためです。

■吸気フィルターは1週間に1回程度お手入れする

汚れがひどくなるとヒーターオフ機能がはたらき、運転が停止します。(8ページ参照)

■ガードに無理な力を加えない

変形する場合があります。

■給水タンクには必ず水道水（飲用）を入れる

使えない水

- ・40℃以上の水、化学薬品、汚れた水、芳香剤や洗剤を入れた水など(本体の変形や故障の原因になるおそれがあります)
- ・浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水など(かびや雑菌が繁殖する原因になるおそれがあります)

一般に水道水は塩素処理がされており、雑菌が繁殖しにくいからです。使用される水が井戸水（飲用）しかないときは、トレー内のお手入れ回数を増やしてください。

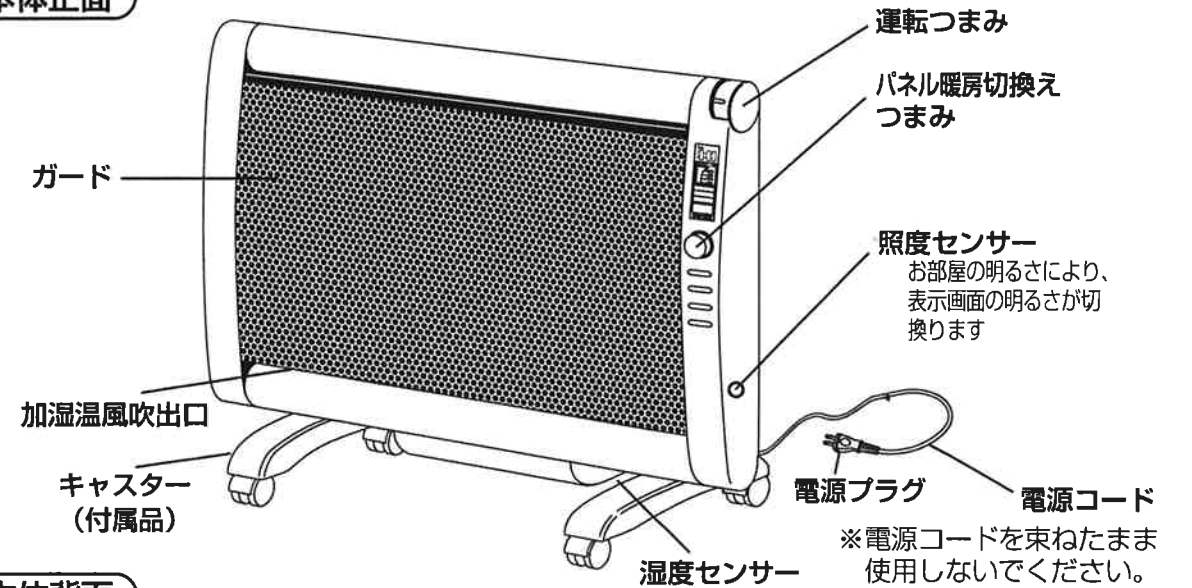
お使いになる前に

知っておいていただきたいこと

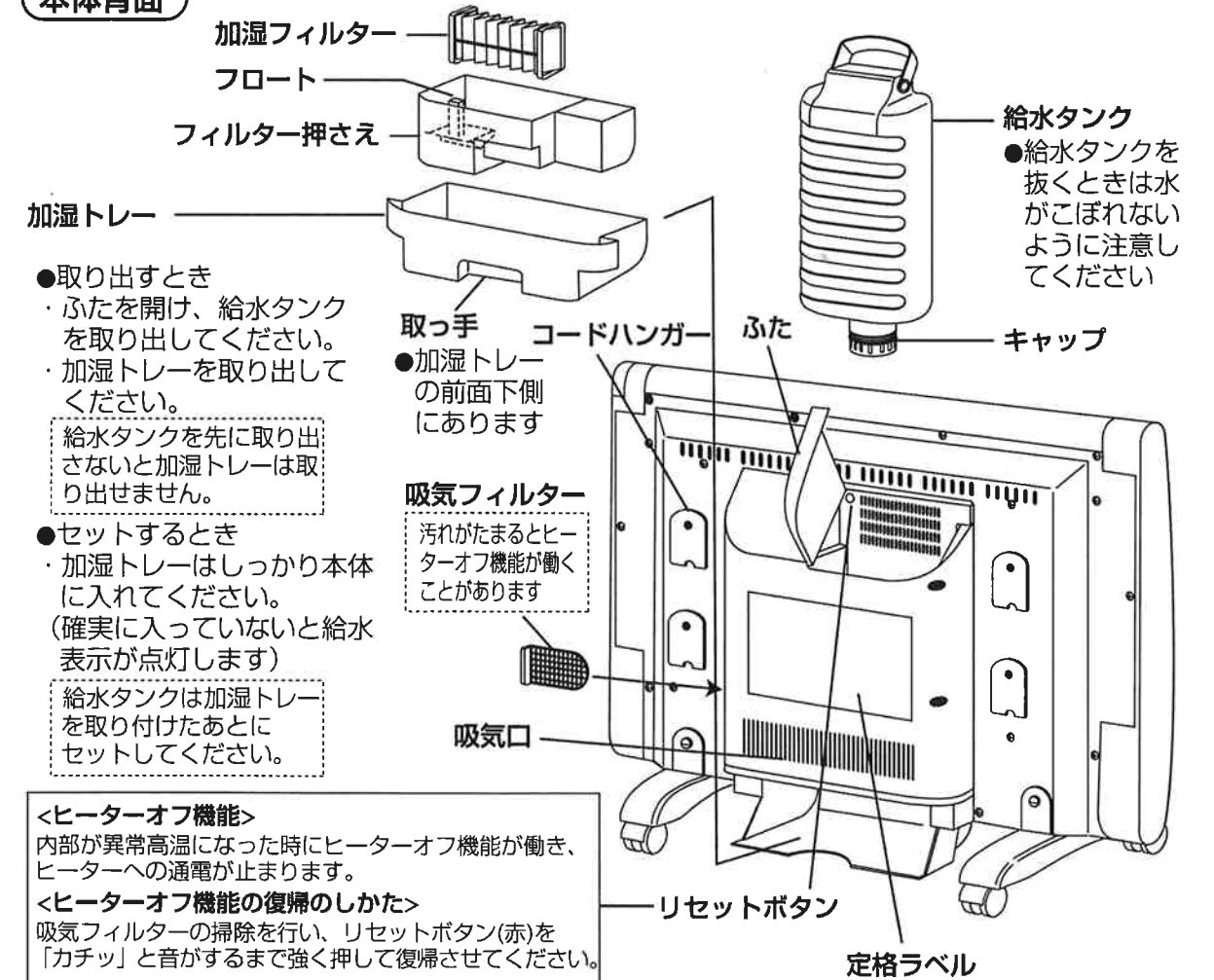
- 使用中、電源コードが熱くなりますが、故障ではありません。
- この製品は水を沸騰させない加熱気化式なので、加湿時湯気（蒸気）は見えません。

各部のなまえ

本体正面



本体背面



お使いになる前に

- 取り出すとき
・ふたを開け、給水タンクを取り出してください。
・加湿トレーを取り出してください。

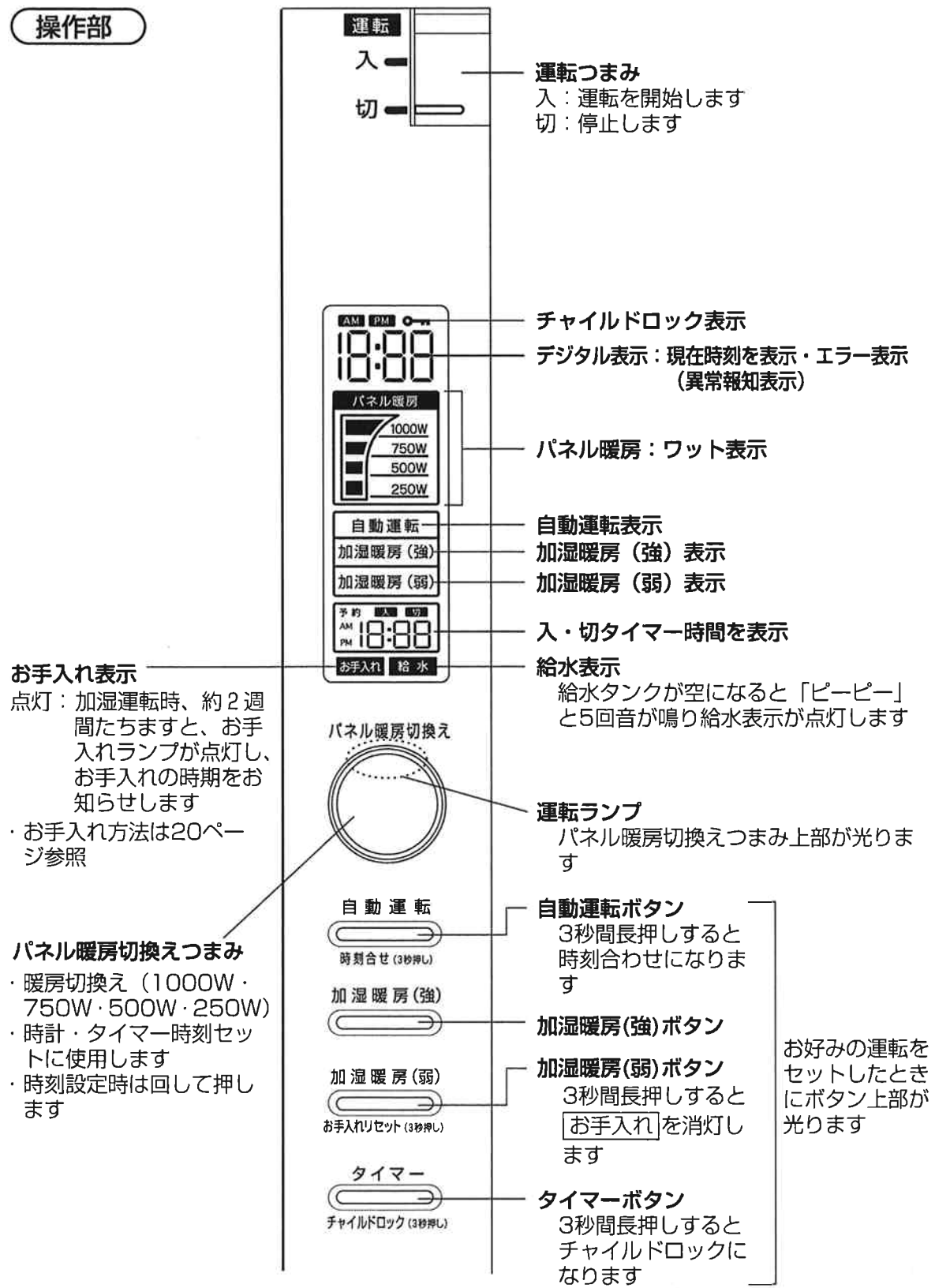
給水タンクを先に取り出さないと加湿トレーは取り出せません。

- セットするとき
・加湿トレーはしっかり本体に入れてください。(確実に入っていないと給水表示が点灯します)

給水タンクは加湿トレーを取り付けたあとにセットしてください。

<ヒーターオフ機能>
内部が異常高温になった時にヒーターオフ機能が働き、ヒーターへの通電が止まります。
<ヒーターオフ機能の復帰のしかた>
吸気フィルターの掃除を行い、リセットボタン(赤)を「カチッ」と音がするまで強く押して復帰させてください。

操作部



お使いになる前に

ご使用前の準備

1 パネルヒーターと付属品を取り出す

・キャスター (2個)	・キャスター取付用ねじ (4個)	・お手入れ用ブラシ (2種類)
	 (本体に仮止めされています)	<ul style="list-style-type: none"> ・給水タンク用(大) ・加湿温風吹出口用(小)

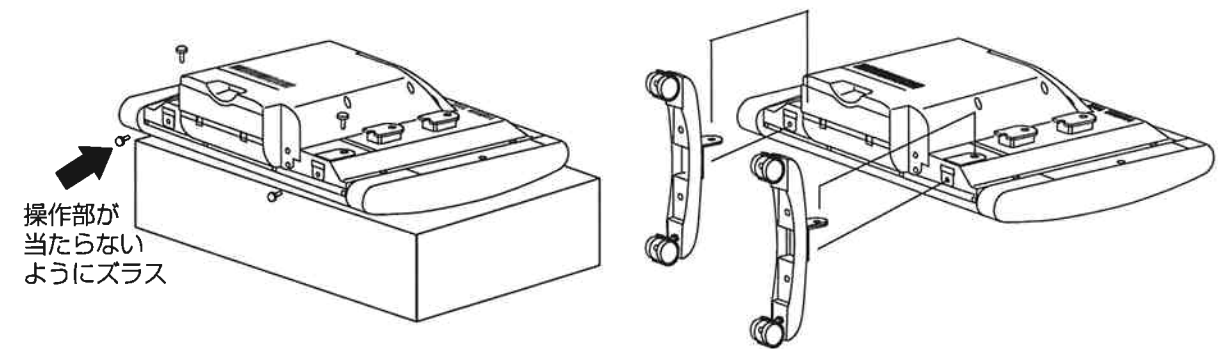
●各部の包装部材を全て取り除きます。

2 組み立てる床の水平を確認する

- 組み立てるために1m四方くらいの水平で丈夫な床面を確保してください。
- 水平でないときは、水平な場所へ移動してください。

本体を組み立てる

- 本体ガードを下にして、静かに包装箱の上に置いてください。
- ※パネル暖房交換つまみが包装箱にあたらないように操作部をずらして組み立ててください。
- ※ガードに無理な力を加えないでください。
- ※マイナスドライバーをご使用される場合はケガなどにご注意ください。



1 キャスター取り付けねじ (4本) を本体から取り外す

- 本体ガードを下にして静かに包装箱の上に置いてください。
- ※ガードに無理な力を加えないでください。

お使いになる前に

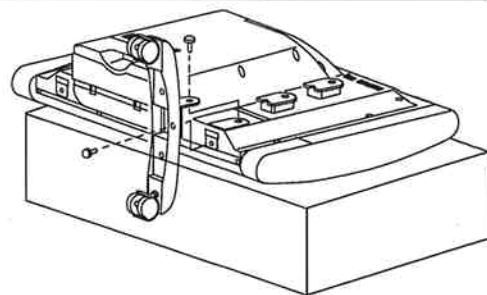
2 キャスターを本体にセットする

- キャスターの取り付け穴を本体背面と底面の取り付け穴に合わせてください。



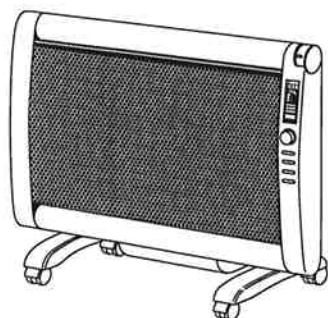
3 キャスターを本体にねじ止めする

- キャスターをキャスター取付用ねじで本体背面と底面に締め付け、確実に取り付けてください。(左右各2か所)
- マイナスドライバーで締めるときは、締めすぎないようにご注意ください。



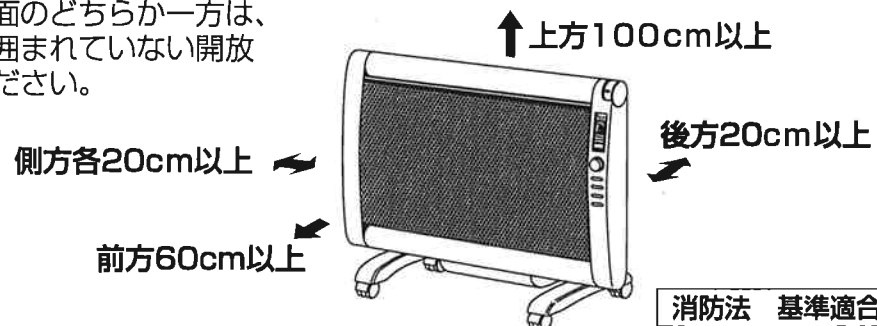
本体を静かに起こす

- 本体を両手でしっかり支え、静かに起こしてください。
- キャスター(後輪)は工場出荷時ロックされていますので、解除してください。
- キャスターがスムーズに動かか確認してから移動させてください。
- ご使用時は、キャスターをロックしてください。
※本体を移動させる時はキャスターのロックを解除してください。



設置のしかた

壁や燃えやすいもの(可燃物)から下図の寸法以上離してお使いください。ただし、左右面のどちらか一方は、壁や障害物で囲まれていない開放空間にしてください。



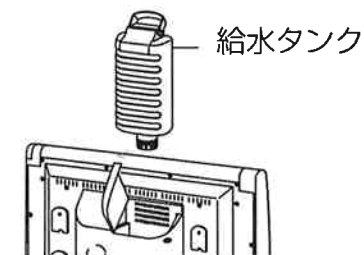
お願い

- 本体下部の吹出口や背面の吸気口をふさがないようにしてください。本体が過熱して安全装置が作動し、通電が停止することがあります。

ご使用前の準備

給水タンクに給水する

1 ふたを開け、給水タンクを取り出す



2 加湿トレーを取り出し、加湿フィルター交換ラベルに加湿フィルターの使用開始日を記入する

- 加湿フィルターの交換時期
 - ・加湿フィルター交換の目安は1シーズン(約6か月)です。
 - ・水質により加湿フィルターの寿命は異なります。

加湿フィルター交換ラベル

加湿フィルターは、2週間に1回程度清掃してください。

交換用加湿フィルター
部品品番 AJ-P10FIL
(使用開始日 年 月 日)



3 給水タンクに水を入れて、キャップをしっかりとしめる

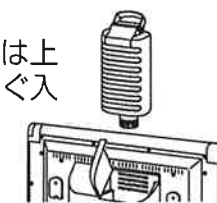
- 給水タンクに水道水(飲用)を入れる。
・6ページの「給水タンクには必ず水道水(飲用)を入れる」をよくお読みください。
- キャップはまっすぐに、しっかりとしめてください。
傾けてしめると、水がもれることがあります。



4 加湿トレーと給水タンクを本体にセットして、ふたを閉める

- 給水タンク表面の表示の確認してセットしてください。
- とってを方向に倒してふたを閉めてください。

給水タンクは上からまっすぐ入れる



5 電源プラグを差し込む

お使いになる前に